

龍谷大学ダイバーシティ宣言

龍谷大学の「建学の精神」は「浄土真宗の精神」です。本学は、阿弥陀仏の願いに生かされ、真実の道歩まれた親鸞聖人の生き方に学び、「真実を求め、真実に生き、真実を顕かにする」ことのできる人間を育成します。このことを実現する心の一つとして「平等」の心を掲げています。『仏説阿弥陀経』には、次のような一段があります。

……さとの国の池にはとても立派な蓮の華が咲いている。青色の蓮華は青い光、黄色の蓮華は黄色い光、赤色の蓮華は赤い光、白色の蓮華は白い色の光を放っている。一輪一輪ちがっており、それらはどれもそのまま香り高く何とも美しく素晴らしい。さとの国はそのような徳の高い、言葉を越えた素晴らしさで満ちあふれている。
(『阿弥陀経』より意識)

阿弥陀仏の光に照らされたすべての「いのち」は各々の特徴を持ったままに光り輝いていると、教えてくださっています。阿弥陀仏には、すべての違いを認め慈しむ眼があります。

私たちがまた、その眼をいただいてみた時、いのちがそれぞれの特徴を持ったままに光り輝いている世界が見えてきます。それこそが、本当の意味での「平等」であり、現代社会が目指すべき多様性 (Diversity) の本質を示しています。

人はそれぞれ、ジェンダー、性的指向・性自認、障がいの有無、人種、民族、国籍、ルーツ、宗教、信条、社会的立場、年齢など、多様な背景を持って生きており、誰一人として同じ存在はいません。

龍谷大学は、すべてのいのちが尊重され、それぞれの特徴を持ったままに光り輝ける社会の実現を目指します。そのために、次のようなダイバーシティの取り組みを、積極的に推進していくことを、ここに宣言します。

1. すべてのいのちが輝くキャンパスづくり

龍谷大学は、学生・教職員をはじめとするすべての構成員と共に、多様性 (Diversity)、公正性 (Equity)、包摂性 (Inclusion) を積極的に推進し、誰もが受け入れられ、安心感を持てる (Belonging) キャンパスづくりを進めます。

2. 未来を創出する変革の担い手の育成

龍谷大学は、自らのありようを省みながら多様な価値観を尊重し、多様な人々がそれぞれ輝ける未来を創出する、変革の担い手を育みます。

3. 共存共栄と持続可能な社会への貢献

龍谷大学は、ダイバーシティの推進を通じて、人類全体の共存共栄と、地球環境と調和した持続可能な社会の実現に貢献します。